

人類動態学会 第18期第6回理事会議事要旨 HP 公開用

日時：2006年1月14日 14:00～16:30

場所：筑波大学大塚キャンパス，教育開発国際協力研究センター東京分室（E157）

出席者：小木和孝，小島龍平，酒井一博，田中秀幸，中田英雄，早弓 惇，堀野定雄，松村秋芳

配付・回覧資料

資料1．第41回人類動態学会計画（案）

資料2．「動態研究の方法」シリーズ出版計画の具体化（案）

資料3．公募研究「バスの車内事故削減を目指した乗客動態調査研究」運営報告

資料4．ロゴマークの修正デザインおよび会報・JHEの表紙デザイン（回覧）

I．第18期第5回議事要旨の確認（電子メールにて回覧済み）

II．議長および書記の選出

互選により小島氏を議長に，田中氏を書記に選出した。

III．報告および審議事項

1．会員の動向について

- ・ 1名新規入会，1名退会．1月14日現在で会員数は206名．
（他1名の新規入会者について，手続き状況を至急確認する（小島）．）
- ・ 坂本弘先生を名誉会員として06年度総会にて推薦する．ご本人にはその旨承諾いただいた。

2．会報

- ・ 第83号が12月10日に刊行された。
- ・ 次号（第84号）の記事は，第1回くらしの中の共生シンポジウム関連，公募研究関連など．6月の全国大会までに刊行されるよう編集作業を進める。
- ・ 原稿提出締め切りを3月末に設定。

3．JHE

- ・ Vol. 33-1/2 合併号(2004)を印刷中．論文6編（original-4編，communication-2編）と第37回大会英文抄録（11件）が掲載される予定。
- ・ 岡田守彦編集委員長欠席のため，Vol. 33に掲載される予定の投稿規程改訂版（50部別刷無料配付とページ超過料金の撤廃）の件は報告なし。
- ・ 未掲載分の大会抄録の行方調査はまだ完了していない．次回の編集委員会までに調査結果を報告する（小島）。
- ・ 次期編集委員長の選考を含めたJHE編集体制の見直し作業は進展なし．編集委員会を2月中旬頃までに開催することとし，6月の総会までに編集体制の見直し作業を完了するよう鋭意努力する。

4．シンポジウム・東日本地方会の報告

- ・ 「くらしの中の共生」第1回ミニシンポジウム（「道具と身体の相互作用」～ヒトと道具の共生を考える）と第34回東日本地方会が，2005年12月17日～18日の期間，東京農工大学の小金井キャンパスにおいて開催された．2日間の延べ参加者数は90名。
- ・ 地方会とシンポジウムの同時開催方式にした場合，運営費は10万円では不足．もし今後も同様の方式を採用するならば，学会からの補助金は20万円程度が望ましい。
- ・ シンポジウムのまとめを次号会報に寄稿する（中田・酒井）。
- ・ シンポジウム・地方会の参加記（次号会報記事）の執筆を真家 and 生先生（大妻女子大学）にお願いする（田中）．非会員1名にはすでに参加記の執筆を依頼した。

5. 第41回人類動態学会大会の計画案について（資料1）
 - ・ 原案通り承認した。
 - ・ 2006年6月3日（土）～4日（日）に開催する。
 - ・ 「ルーテンフランツ」ルール*の導入を前提として、神奈川県内を中心に開催地を検討している（酒井）。
 - ・ 近日中に、開催日程を学会HPに公表し、メーリングリストを使って会員へ通知する（小島→森）。
6. 「動態研究の方法」シリーズ本出版計画の具体化案について（資料2）
 - ・ 原案通り承認した。
 - ・ 学会内に出版企画ワーキンググループ（5名程度）を設置する。ワーキンググループの構成メンバーを小木氏へ推薦することとした（1月下旬まで電子メールにて）。
7. 学会公募研究の進捗状況について（資料3）
 - ・ 2005年12月24日、順天堂大学医学部本郷キャンパスにおいて、公募研究「バスの車内事故削減を目指した乗客動態調査研究」の中間報告会が開催された。
 - ・ 中間報告会の記録（資料3の一部）に基づいて各研究グループの研究内容と成果を簡潔にまとめ、体裁を整えた上で、次号会報に掲載する（堀野）。
 - ・ 研究成果の公表は発表会形式よりもワークショップ形式で進めていくのが良い、夏季研究会のテーマに取り上げられないか、などの意見があった。
8. 会報とJHE表紙デザインの変更および修正ロゴマーク（サブマーク）について（資料4）
 - ・ 学会ロゴマークを会報とJHE表紙に採用するにあたりロゴマークの配色を現在の表紙色に合うように変更することとした（第18期第2回理事会承認）件を受けて、河原理事を通じてデザイナーから修正ロゴマーク（サブマーク）、会報表紙デザイン、JHE表紙デザインの案が示された。
 - ・ デザイン案の採択に関しては、JHE編集委員会、会報編集委員会にて審議する。
 - ・ 修正作業にかかる経費および依頼内容等については、デザイナーとの折衝を河原理事に依頼する（田中→河原）。
9. その他
 - 1) 第1回くらしの中の共生シンポジウム抄録の英文化について
トライアルとして、和文英訳翻訳ソフトを使用して和文抄録（1件）を英文化してみる（田中）。その結果から、シンポジウム抄録をJHEに掲載するか否かを、次回JHE編集委員会において審議する。
 - 2) 第19期役員選挙について
日程：3月1日公示、3月31日投票締め切り。
選挙管理委員会候補者の選出：水上信智、水野有希、下田政博。
 - 3) 次回理事会について
4月15日（土）16：00～、筑波大学大塚キャンパスにて開催予定。

以上

脚注

* 「ルーテンフランツ」ルール～夜勤交代勤務科学委員会の初代委員長であった故ルーテンフランツ教授（Prof. Joseph Rutenfranz）が提唱したシンポジウム開催方式の指針。「都会から離れた鄙びた場所で開催する」、「並行セッションを行わず単一セッションのみで行う」、「合宿形式で開催し同じ釜の飯を食う」など。

（財団法人労働科学研究所ホームページから引用 <http://www.isl.or.jp/ijikai/wsr/1673.html>）